

会 社 名 アレンザホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 浅倉 俊一  
(コード：3546 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役経営戦略室長 三瓶 善明  
(TEL：024-563-6818)

## 2024年2月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年4月11日に公表いたしました2024年2月期（2023年3月1日から2024年2月29日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年2月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2023年3月1日～2024年2月29日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 154,000	百万円 5,900	百万円 6,250	百万円 3,650	円 銭 121.24
<b>実績値(B)</b>	<b>149,715</b>	<b>4,106</b>	<b>4,614</b>	<b>2,372</b>	<b>78.67</b>
差額(B-A)	▲4,284	▲1,793	▲1,635	▲1,277	—
差額率(%)	▲2.8	▲30.4	▲26.2	▲35.0	—
(ご参考)前期連結実績 (2023年2月期)	149,191	5,393	5,917	2,707	89.77

#### 2. 差異の理由

当連結会計年度において、為替や長期化するウクライナ情勢の影響で資源、エネルギー価格が高止まりし、電力をはじめとして物価高が継続するなど国内景気の見通しは依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループが主に事業展開するホームセンター業界は、物価高の影響を受けて総じて消費マインドは低く、消費者の節約志向が根強い状況でさらには感染症対策商品や巣ごもり需要が落ち込んだことも相まって、グループ既存店合計の客数が前年比94.8%、既存店合計の売上高が前年比97.9%と影響を大きく受けたことにより、営業収益が期初計画に対して乖離しました。

費用面では、水道光熱費・物流コストの高騰、賃金改定による人件費の増加、キャッシュレス決済手数料の負担増加の影響による計画超過もあり、その結果、営業利益、経常利益は上記のとおり予想数値を下回りました。

また、固定資産の減損損失として883百万円を特別損失に計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益が予想数値に対して上記のとおり乖離しました。

以上